



Linking your dreams
リンテック株式会社

2015年3月期第2四半期 決算説明会資料



2014年11月17日
リンテック株式会社

2015年3月期第2四半期 連結業績の概要①

	'15/3月期 第2四半期 累計	'14/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
--	------------------------	------------------------	-------------

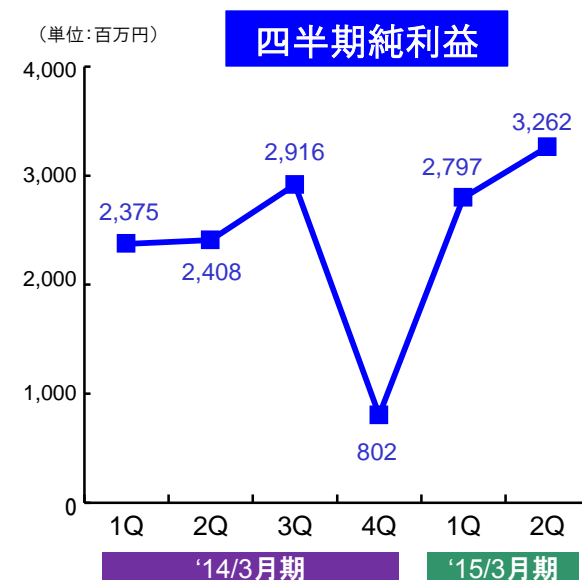
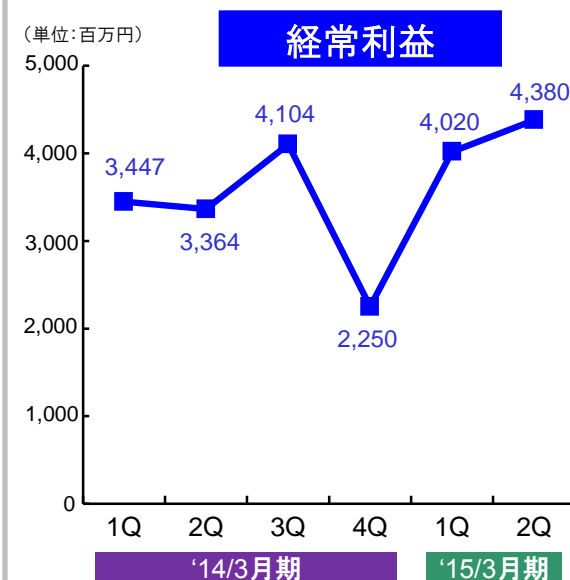
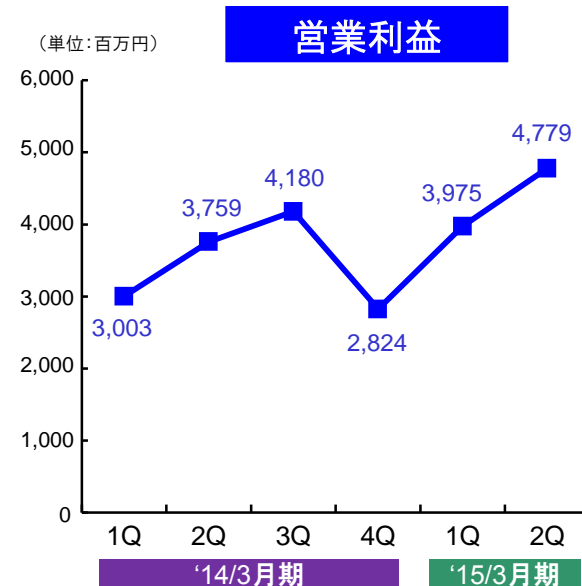
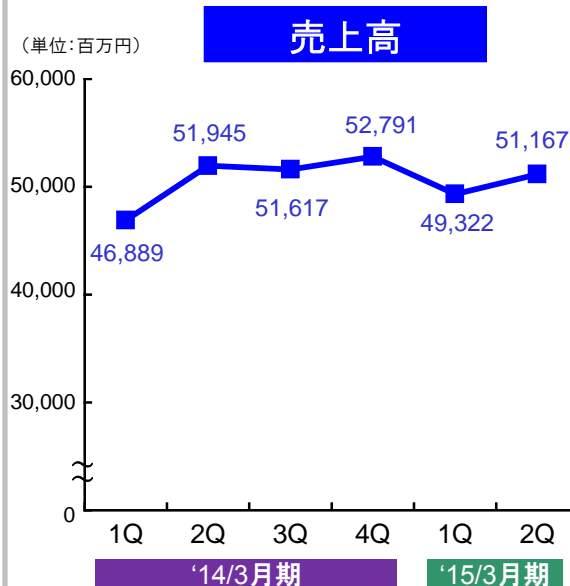
(単位:百万円)

売上高	100,489	98,834	1,655 (1.7%)
-----	---------	--------	-----------------

営業利益	8,754	6,762	1,992 (29.5%)
------	-------	-------	------------------

経常利益	8,400	6,811	1,589 (23.3%)
------	-------	-------	------------------

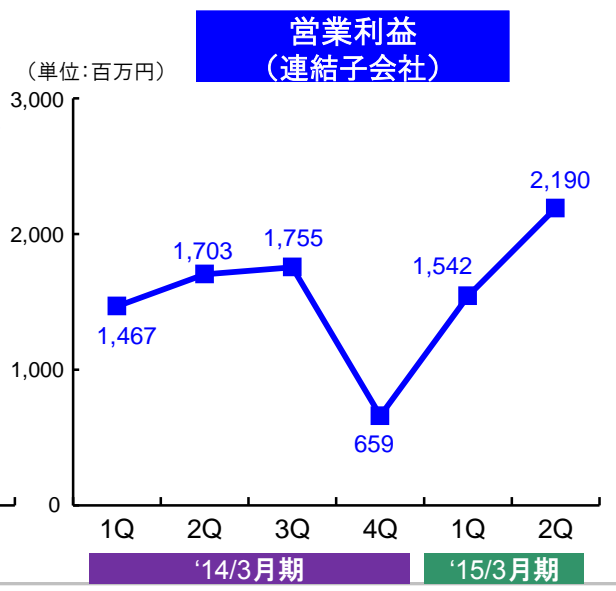
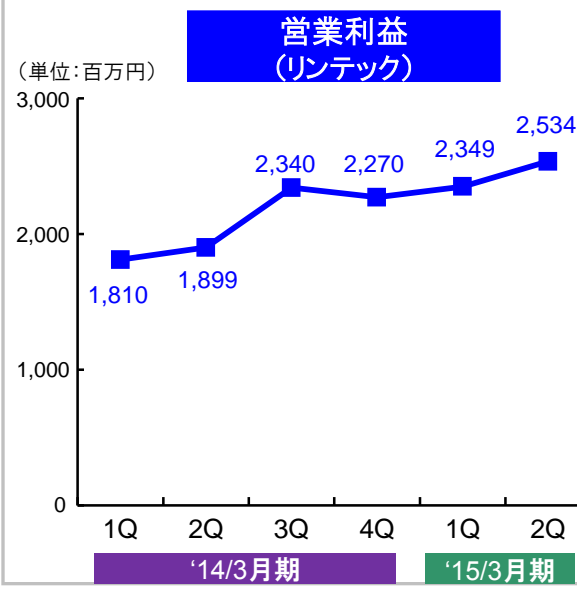
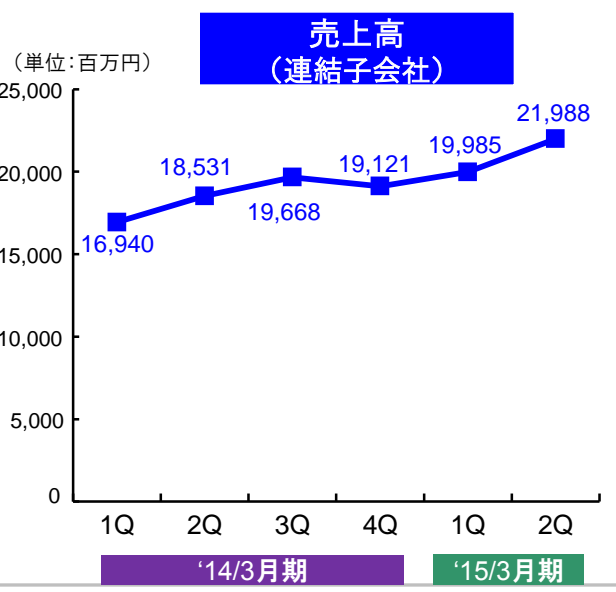
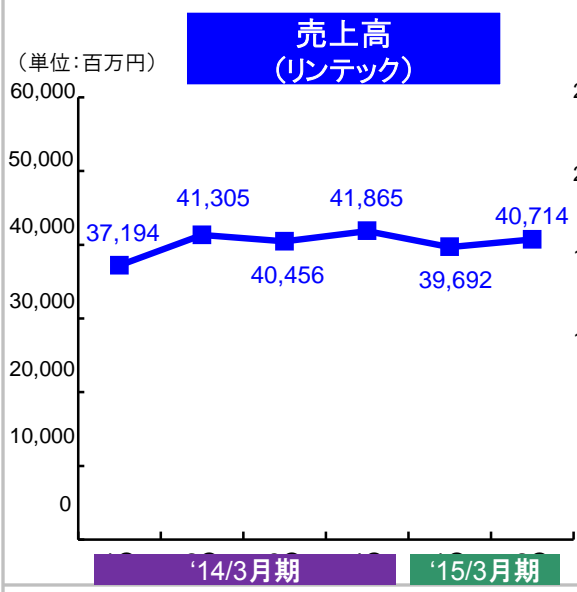
四半期 純利益	6,059	4,783	1,276 (26.7%)
------------	-------	-------	------------------



2015年3月期第2四半期 連結業績の概要②

	'15/3月期 第2四半期 累計	'14/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
売上高			(単位:百万円)
リンテック	80,406	78,499	1,907 (2.4%)
連結子会社	41,973	35,471	6,502 (18.3%)
消去	▲21,890	▲15,136	▲6,754
計	100,489	98,834	1,655 (1.7%)

	'15/3月期 第2四半期 累計	'14/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
営業利益			(単位:百万円)
リンテック	4,883	3,709	1,174 (31.7%)
連結子会社	3,732	3,170	562 (17.7%)
消去	139	▲117	256
計	8,754	6,762	1,992 (29.5%)



➤ 売上高 …連結ベースでの円安による増加影響額 約19億円

● リンテック単体

消費増税後の駆け込み需要の反動、天候不順などによる個人消費の落ち込みが一部製品の需要に影響
スマートフォンやタブレット端末の需要効果などで、**アドバンスマテリアルズ** 事業部門、**アドティ加材** 事業部門が伸長

● 連結子会社

インドやアセアン地域で、印刷・情報材事業部門、産業工材事業部門が堅調
台湾、韓国、マレーシアなどで半導体関連粘着テープやMLCC用コートフィルムが順調に推移
リンテックシンガポールの販売子会社9社を当期より連結対象としたことにより約34億円増加も
連結売上高への影響は軽微

➤ 営業利益 …連結ベースでの円安による増加影響額 約6億円

● リンテック単体

(増益要因)

販売数量の増加および売上構成の改善	約5億円
海外子会社との利益配分の見直しなどによる影響額	約3億円
固定費の削減	約5億円
その他	約2億円

(減益要因)

円安などによるパルプや燃料の調達コストの上昇	約4億円
------------------------	------

● 連結子会社

- ・単体との利益配分の見直しによるマイナス影響
- ・円安による単体および日本メーカーからの仕入コストダウン
- ・円貨換算額の押し上げ効果

【期中平均為替レート(実績)】

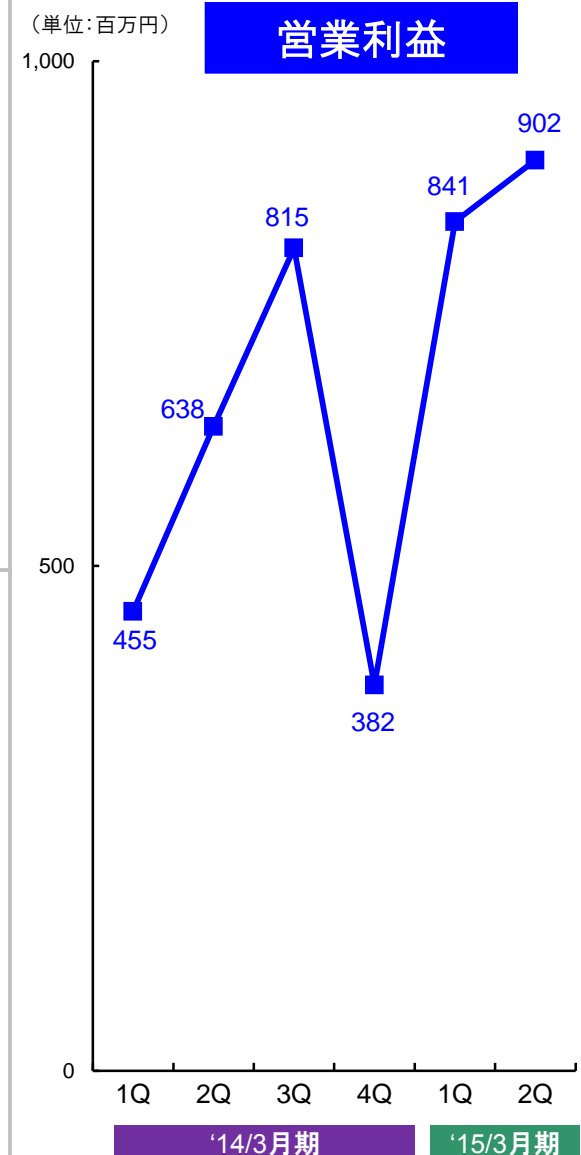
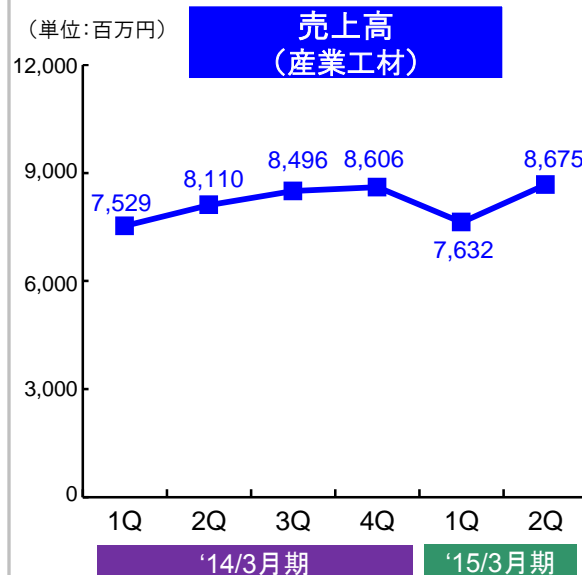
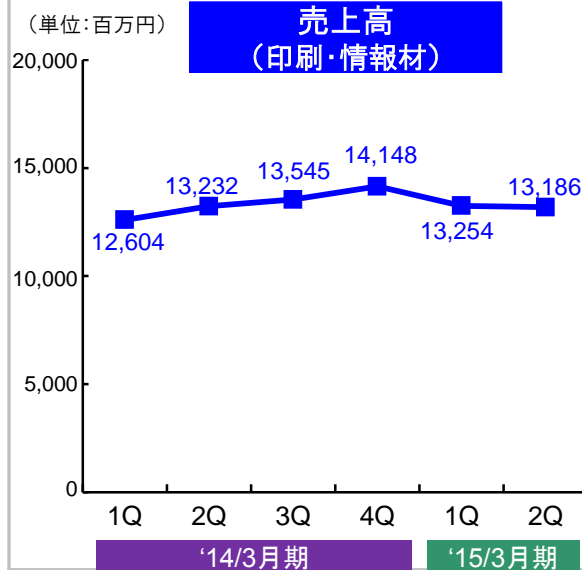
	('14/3 2Q)		('15/3 2Q)
円/US\$	95.90	→	102.23
円/1-円	125.79	→	139.87
円/WON	0.0866	→	0.0980
円/中国元	15.53	→	16.56
円/台湾\$	3.23	→	3.39

2015年3月期第2四半期 印刷材・産業工材関連の概要①

'15/3月期 第2四半期 累計	'14/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
------------------------	------------------------	-------------

(単位:百万円)

印刷・情報材 事業部門	26,440	25,836	604 (2.3%)
産業工材 事業部門	16,307	15,639	668 (4.3%)
売上高 合計	42,748	41,475	1,273 (3.1%)
営業利益	1,743	1,093	650 (59.5%)



➤ 印刷・情報材事業部門

国内：消費増税後の需要落ち込み、天候不順の影響を受けたものの前年同期並みを確保
海外：タイ、インドネシア、ベトナムなどアセアン地域で伸長

➤ 産業工材事業部門

二輪を含む自動車用粘着製品：インドやアセアン地域を中心に堅調
ウインドーフィルム：中国市場において需要回復

2015年3月期第2四半期 電子・光学関連の概要①

'15/3月期 第2四半期 累計	'14/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
------------------------	------------------------	-------------

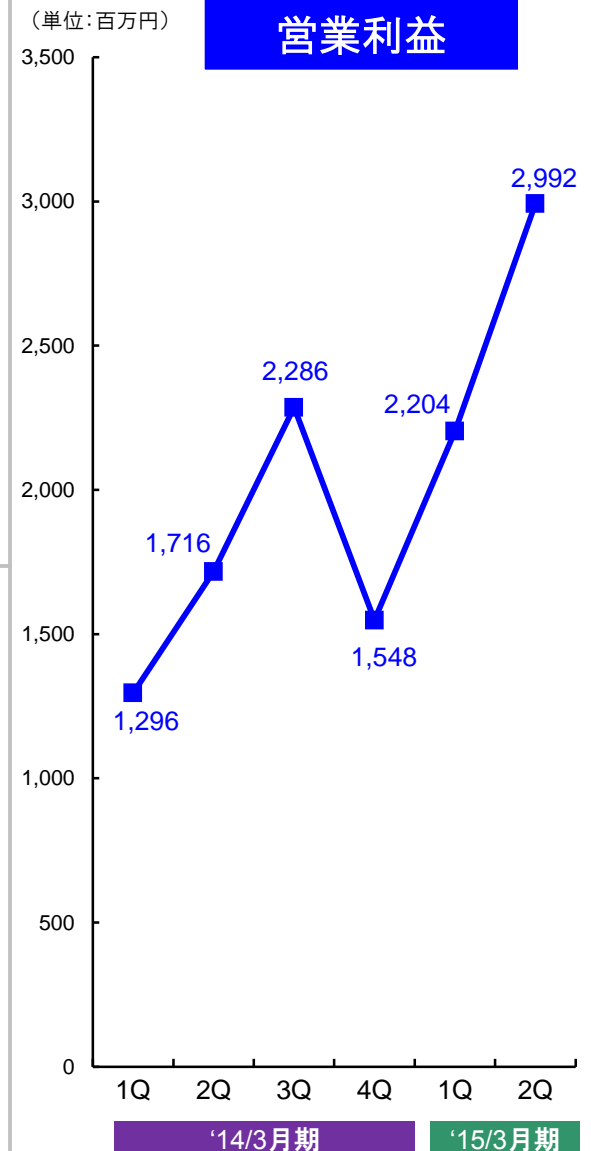
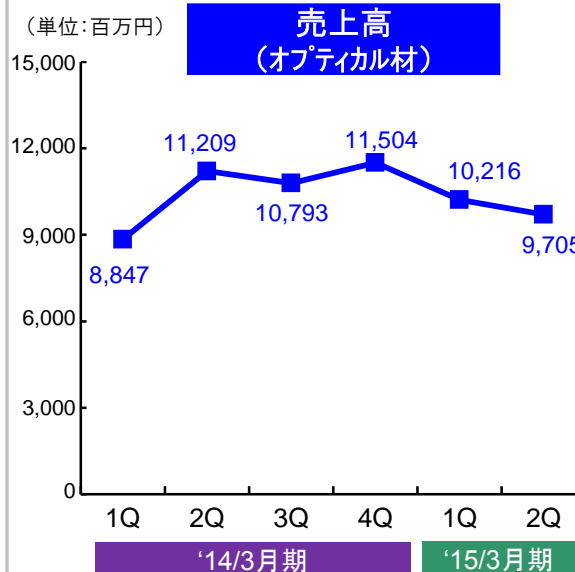
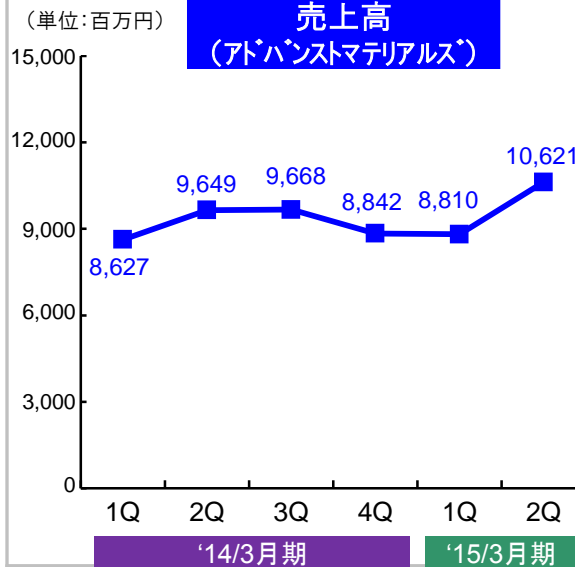
(単位:百万円)

アドバンス マテリアルズ 事業部門	19,431	18,276	1,155 (6.3%)
-------------------------	--------	--------	-----------------

オプティカル材 事業部門	19,921	20,056	▲135 (▲0.7%)
-----------------	--------	--------	-----------------

売上高 合計	39,353	38,332	1,021 (2.7%)
-----------	--------	--------	-----------------

営業利益	5,196	3,012	2,184 (72.5%)
------	-------	-------	------------------



➤ アドバンスドマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着テープ：スマートフォンやタブレット用の需要効果により大幅に伸長

半導体関連装置：前年同期並みで推移

M L C C用コートフィルム：スマートフォンやタブレット用の需要効果により伸長

➤ オプティカル材事業部門

テレビの大型化による需要増、スマートフォンやタブレット用の需要効果により販売数量は増加
ノンキャリア品の需要が増加、単体でのダイレクト塗工品が減少したことにより売上金額は減少

2015年3月期第2四半期 洋紙・加工材関連の概要①

'15/3月期 第2四半期 累計	'14/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
------------------------	------------------------	-------------

(単位:百万円)

洋紙 事業部門	8,063	7,874	189 (2.4%)
------------	-------	-------	---------------

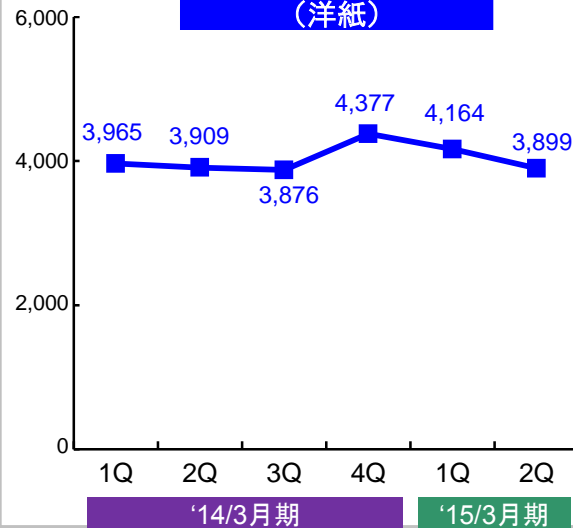
加工材 事業部門	10,324	11,152	▲828 (▲7.4%)
-------------	--------	--------	-----------------

売上高 合計	18,387	19,026	▲639 (▲3.4%)
-----------	--------	--------	-----------------

営業利益	1,768	2,701	▲933 (▲34.5%)
------	-------	-------	------------------

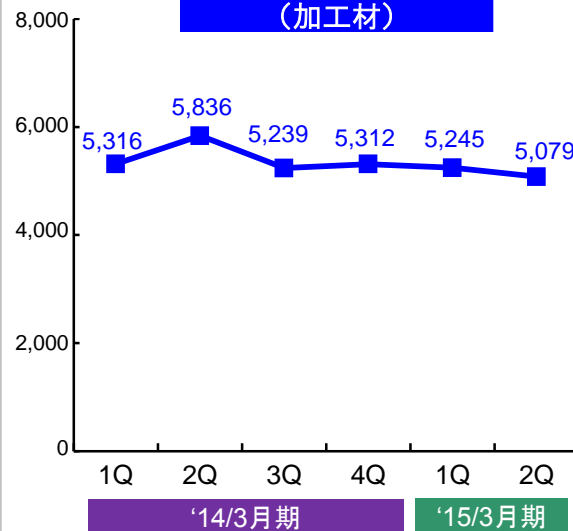
(単位:百万円)

売上高 (洋紙)



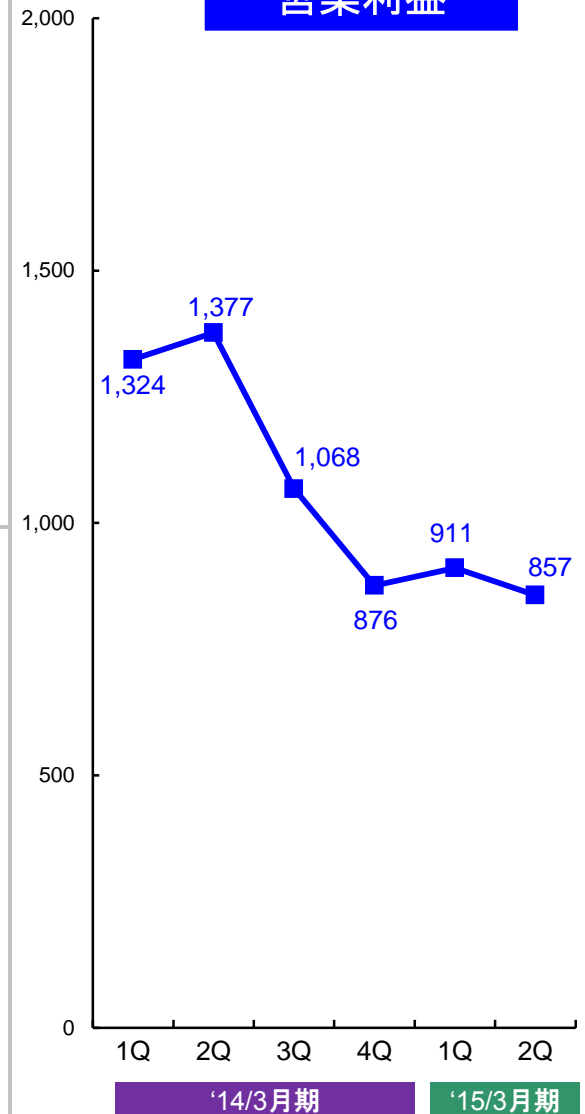
(単位:百万円)

売上高 (加工材)



(単位:百万円)

営業利益



➤ 洋紙事業部門

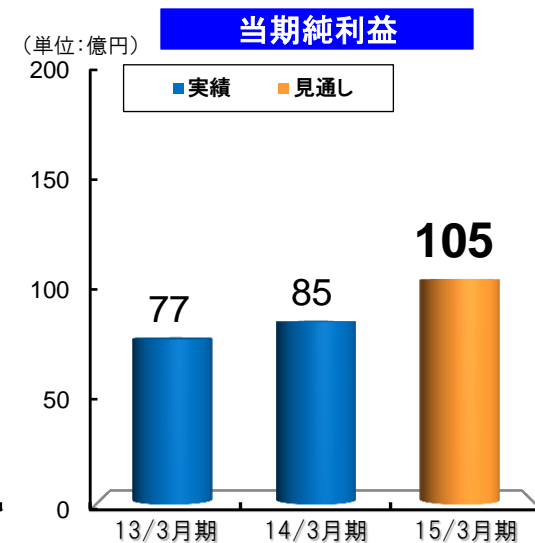
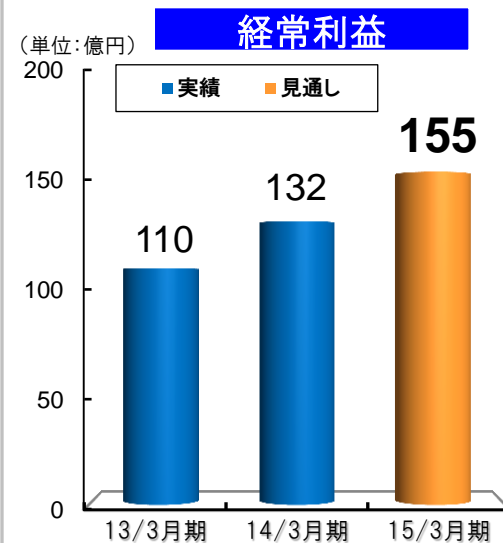
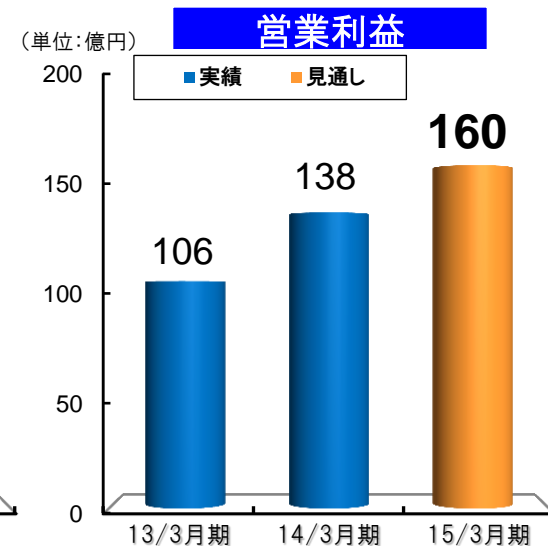
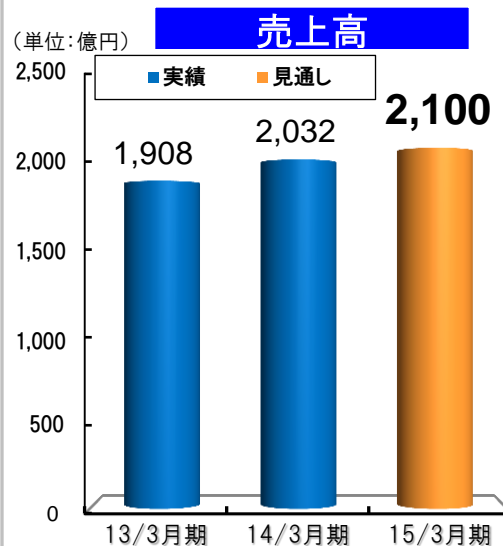
主力のカラー封筒用紙が堅調に推移
建材用紙や耐油紙などの需要が増加

➤ 加工材事業部門

炭素繊維複合材料用工程紙：航空機用を中心に伸長
合成皮革用工程紙：中国国内の市況低迷の影響を受け減少

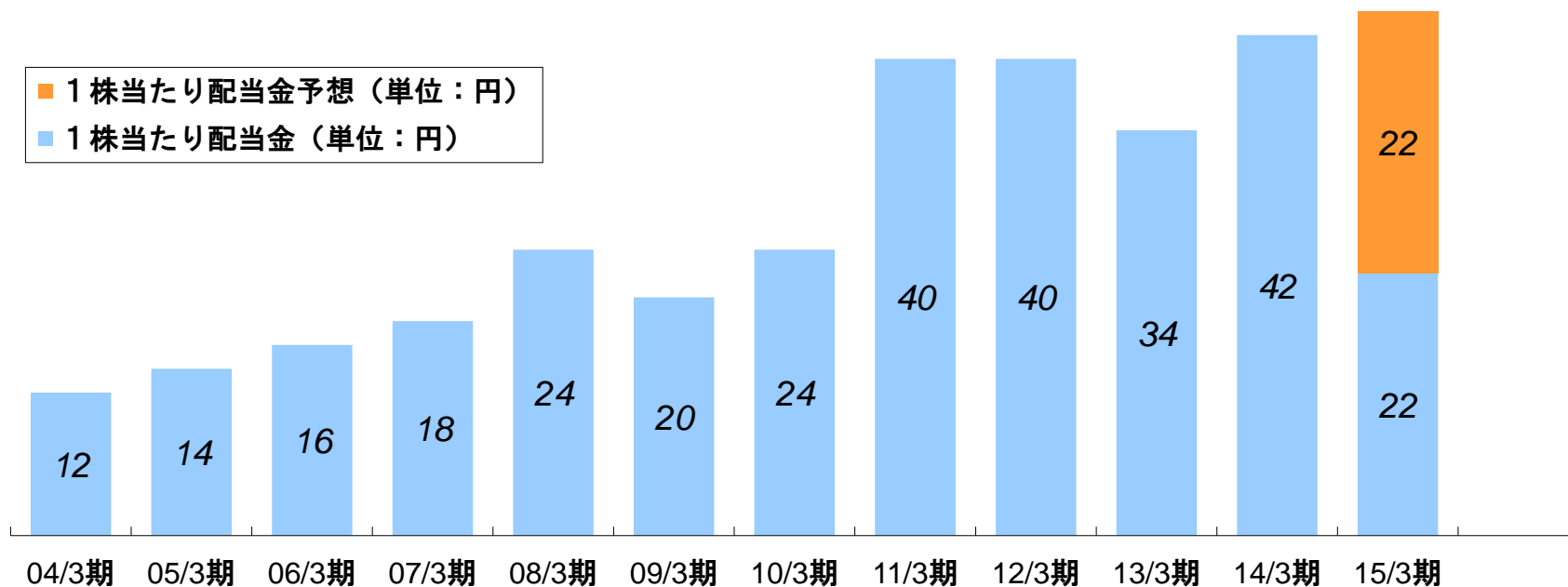
2015年3月期通期 連結業績の見通し

	'15/3月期 見通し	'14/3月期 実績	増減	増減率
(単位: 億円)				
売上高	2,100	2,032	68	3.3%
営業利益	160	138	22	16.2%
経常利益	155	132	23	17.7%
当期純利益	105	85	20	23.5%



(基本方針)

当社は株主への利益還元の充実を経営上の最重要課題の一つと位置づけており、利益配分につきましては、経営基盤の強化を図りつつ、各事業年度の連結業績を勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを基本といたします。内部留保資金につきましては、財務基盤の強化ならびに将来の企業価値向上のための生産設備や研究開発投資などに有効に活用してまいります。



当期純利益(億円)	72.8	136.2	86.4	76.8	85.0	105.0
1株当たり当期純利益(円)	96.36	180.21	115.26	102.83	114.22	145.57
連結配当性向(%)	24.9	22.2	34.7	33.1	36.8	30.2

ご清聴ありがとうございました

本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。